

まちづくり懇談会などの市民意見・回答 全体版

参考資料

分類項目	市民の意見	市からの回答
A.通学負担・安全性	【通学負担・学校配置】 ・市街地に小中一貫校2校を設置する案は通学負担が大きいと、再検討を求める ・長時間通学で睡眠時間が削られるなら、教育上のメリットは少ない	【通学負担・学校配置への回答】 ・市街地の小中一貫校2校案は決定事項ではない ・他地区からも同様の懸念が出ており、検討協議会で今後議論する
	【スクールバスの実現可能性】 ・広域で坂の多い網走では既に長時間通学する生徒がおり、運転手不足もある中、再編後に子どもが無理なく通学できる現実的な運行体制を検討しているか確認したい	【スクールバスへの回答】 ・郊外では現在も40～50分通学する生徒がおり、市内へ統合すると現行体制では1時間を超えるため運行体制の見直しが必要 ・バス事業者と市の考えについて意見交換している
	【長時間通学の負担】 ・郊外から市街地への通学が片道1時間以上となり、低学年を含む子どもが早朝から長時間通学を続けることに不安がある ・長時間通学が不登校につながることや、保護者の送迎、降雪時、乗車地点までの移動による親子の負担を懸念する ・坂が多く広域な網走で、郊外の通学時間をさらに長くすることには疑問がある	【通学負担への回答】 ・再編時はバス路線と車両台数を見直し、通学時間を1時間以内に収め、子どもの負担を極力短縮する具体策が必要 ・通学の足と学校配置は最大の課題であり、地域の懸念が強ければ再検討する必要がある ・保護者や地域の多様な意見を聴き、広域な市内の移動手段を検討協議会で議論する
	【保護者意見と移動手段】 ・現在の保護者が計画に納得しているか確認し、通学時間を重視して十分に意見を反映してほしい ・空飛ぶタクシーなど、従来の枠にとらわれない移動手段も検討してほしい	
	【冬季通学・緊急時対策】 ・3校へ統合する場合、冬季にバスが運休して帰宅できない事態を想定した具体策が必要 ・学校周辺に子どもが宿泊できる施設を用意するなど、安全確保策を基本的な考え方に盛り込んでほしい	
	【遠距離通学への懸念】 ・浦士別・音根内から白鳥台小へ現在約30分かけて通う児童が、市街地校への統合後は往復2時間となる可能性がある ・統合によって通学距離と負担が増すことへの具体的な検討が不足している	【通学負担への回答】 ・郊外地域からも通学負担への同様の懸念が出ている ・通学時間が長くなる課題を一つずつ解決し、より良い方向を目指す ・懇談会等の意見を学校再編検討協議会へ提示して検討する

分類項目	市民の意見	市からの回答
A.通学負担・安全性	<p>【通学負担・スクールバス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒数や部活動の集約で新たな活動が可能になる方向性には理解を示す一方、送迎・通学負担を踏まえスクールバスを充実してほしい ・統合で通学距離が延びる場合、スクールバス利用の「4km以上」という基準が現在も適用されるか確認したい ・中央小までの距離と向陽ヶ丘の坂道は小学生に負担が大きく、大曲からの徒歩通学は現実的ではない ・小学1年生の体力を基準に、西小地区の児童全員が利用できる規模でスクールバスを手配してほしい <p>【乗車・登校確認】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バス通学では、児童が乗車して実際に登校したかを確認する仕組みが必要 ・幼稚園バスの乗降確認を参考にしてほしい 	<p>【通学手段への回答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通学手段は最大の課題であり、路線数を増やして最短ルートを組んでも生じる負担に最大限配慮する ・徒歩通学の目安は小学校4km、中学校6kmだが、地理的条件も考慮するため絶対的な基準ではない ・現在は郊外のみでスクールバスを運行しているが、再編後は市街地でもバス運行が必要と考えている ・公共バスを利用するかは未定 ・子どもが歩くことも大切であり、ドア・ツー・ドアは難しいが、低学年には一定の配慮をする ・協議会で郊外にも学校を残すべきとの結論になれば、その方向で進める <p>【乗車・登校確認への回答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・欠席連絡がなく児童が登校していない場合は、学校が連絡・確認している ・幼稚園バスの乗車確認方法を研究する
	<p>【長時間通学・安全性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10年間で14校を3校に集約する構想には、通学面で無理がある ・郊外の児童は現在も片道35分スクールバスに乗っており、統合でさらに負担が増える ・バスの台数を増やしても移動距離は変わらず、効率的・迅速な運行には限界がある ・吹雪時の送迎や迎えには命の危険が伴う ・運転手不足に加え、農地・農道の事情に不慣れな運転手による事故の危険も懸念される 	<p>【通学負担・安全性への回答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貴重な意見として受け止める

分類項目	市民の意見	市からの回答
A.通学負担・安全性	<p>【通学距離・保護者負担】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大曲2丁目付近から中央小までは4kmを超え、猛暑・吹雪・ホワイトアウトも踏まえると、徒歩通学は過酷であり、安全な送迎支援やスクールバスが不可欠 ・現在も西小まで1.3～1.4km程度でも、坂道や防犯面への不安から低学年児童を毎日車で送迎しており、統合で距離が延びれば保護者負担が限界を超える <p>【スクールバス・中学生利用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学生4km、中学生6km以上という利用基準だけでなく、坂道や気象条件など地域事情も考慮してほしい ・大曲地区から二中へ5km弱でも徒歩が厳しく、自費で路線バスを利用しているため、統合後のスクールバスに中学生も同乗できるよう検討してほしい ・西小から中央小まで乗車する案や、向陽の坂下まで乗車して以降は徒歩とする案が考えられる ・二中・桂陽高校への送迎渋滞でバスが遅れても、児童が遅刻扱いにならないようにしてほしい ・中央小まで徒歩区間を設ける場合、天都山地区の児童が坂を上ることになり体力的負担が大きい 	<p>【スクールバスへの回答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5月に網走バス、網走観光交通の2事業者と初期の意見交換を行い、前向きに協力する意向を得ている ・具体的な路線、利用対象、バス停の位置は未定 ・既存路線バスの活用も選択肢だが、到着後に児童が安全に坂を上り始業に間に合うかなど、運行時間とルールは今後の検討課題 ・中学生の同乗、交通空白地域への対応、渋滞時の遅刻扱い、天都山地区の徒歩負担については、明確な回答の記録なし
	<p>【交通空白地域への配慮】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天都山地区は路線バスがなく、デマンドバスも朝9時開始で通学に使えないため、交通手段のない地域の子どもを取り残さないでほしい <p>【通学実態の把握】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケートに、現在の通学方法、許容できる通学時間、悪天候時の状況など、保護者の実態を把握できる設問を設けてほしい <p>【防災面から見た学校立地】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西小は川沿いの津波浸水想定区域にあり、警報時に校舎内で避難した経験もある ・統合を機に、川や海から離れた高台の学校へ通えることは安心材料であり、防災面から再編を前向きに捉えてほしい 	<p>【アンケートへの回答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在の送迎・通学方法や悪天候時の状況など、具体的な数値と実態を把握する設問の追加を検討する <p>【防災面への回答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西小が川沿いの浸水想定区域に立地しているとの指摘は事実

分類項目	市民の意見	市からの回答
A.通学負担・安全性	<p>【通学時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スクールバスの進捗状況を確認したい ・通学経路として最大1時間程度と想定しているが、経由地が多い場合の対応が不安 	<p>【スクールバスへの回答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在バス事業者2社と協議中 ・学校位置やルート、運転手不足等を含め実務的な協議を進めている ・経由地を考慮しつつ、負担軽減策を検討する <p>【統合時期への回答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老朽化の詳細資料は手元にないが、必要な補修をすれば使い続けられる ・統合時期を延ばす場合は維持補修で対応する ・具体的なリミットについては教育委員会で再検討する <p>【改修計画への回答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要な補修は対応している、大規模改修は見極めながら対応する ・西小は給食調理場の改修が必要なことと児童数減少を加味して先行統合を提案した ・網走小の改修も案であり決定ではない
B.教育環境・学校規模	<p>【再編規模・教育のあり方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内3校案には反対で、現状維持または最低限の再編にとどめてほしい ・人数を集めることだけを前提にせず、少子化時代の新しい学校教育のあり方を網走から発信してほしい <p>【教員配置・デジタル活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもを移動させるのではなく、音楽・家庭科等の教員が複数校を巡回する方法を検討してほしい ・タブレットや電子黒板を活用し、学校間で意見交換できる学びの機会を設けてほしい <p>【校舎整備・魅力発信】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老朽化した校舎を令和の学校として建て直すことも検討してほしい ・魅力ある新しい学校づくりを、他自治体にも波及する取組として発信してほしい 	<p>【再編規模・教育のあり方への回答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・切実な意見として受け止める ・14校を3校にする再編は他地域でも例が少なく、十分な議論が必要と認識している <p>【教員配置・デジタル活用への回答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音楽教員の巡回は制度上難しい面があるが、配置状況により複数校を回る例はある ・タブレットを使った学校間交流は東小と白鳥台小で実施しており、電子黒板等を活用した授業も行っている <p>【校舎整備・魅力発信への回答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・再編校数、新築・改築の別はいずれも未定 ・再編後は魅力ある学校にしていく必要がある

分類項目	市民の意見	市からの回答
B.教育環境・学校規模	<p>【小規模特認校の教育価値】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・呼人では、小学1年生から中学3年生までが親しく過ごせる環境が評価され、市街地から通う子どもを含め児童生徒が増えている ・大規模校での切磋琢磨を重視するか、小規模特認校のような特色ある学校を残すか、十分に議論してほしい 	
	<p>【子ども中心の教育環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校数や体制だけでなく、子どもにとって良い教育環境をどう確保するかを再編議論の中心に据えてほしい ・郊外の小規模校では、合同修学旅行など学校間で補い合い、教職員も工夫して教育活動を続けている 	
	<p>【納得感のある再編案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状の学校配置をそのまま維持すべきとは思えないが、多様な意見を踏まえ、多くの市民が「やむを得ない」と受け止められる再編案にまとめてほしい 	
	<p>【小規模特認校の規模・配置】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小規模特認校で想定する児童生徒数を確認したい <p>【子ども中心の教育環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校配置だけを決めるのではなく、子どもに必要な教育環境を時間をかけて検討してほしい 	<p>【小規模特認校への回答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在の呼人小中学校は児童生徒数20～30人程度 ・市として小規模特認校を1校設置したいが、呼人を継続するか市街地に置くかは未定
	<p>【小規模校と適正な集団規模】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小規模校の良さを活かす選択肢も含め、超小規模校を残すか一定の集団規模を確保するか、今後10年を見据えて議論してほしい <p>【教職員減少と人口流出】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校数の減少に伴い教職員や職場が減り、その家族を含めた人口流出につながることを懸念する 	<p>【学校規模・教育環境への回答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少人数では体育や協働学習に制約が生じる場合があり、多様な価値観の中で協力し、考えを広げる一定規模の集団も必要 ・学校数は3校に限定せず、通学や地域での役割を踏まえて柔軟に検討する
	<p>【小中一貫教育の検証】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6・3制から9年間の小中一貫教育へ変えるメリット、デメリット、行政上の課題を示してほしい <p>【教育文化の発展】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育熱心なまちとして、大学誘致の実績を活かした教育文化特区なども検討してほしい 	<p>【小中一貫教育への回答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・柔軟な教育課程、専門教員による授業、異年齢交流が期待できる <p>【教員配置への回答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員の雇用・配置は北海道教育委員会が担い、再編後も学級数に応じた専門的で充実した体制を目指す ・教育委員会が教育方針を定め、その上で市が学校配置を検討する

分類項目	市民の意見	市からの回答
B.教育環境・学校規模	<p>【義務教育学校・施設整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来の3校体制では、小学生と中学生が同じ学校で学ぶのか確認したい ・学校を新築するのか、既存校舎を活用するのか確認したい <p>【教育への効率性導入への懸念】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育に費用削減や効率性を優先する考え方を持ち込むべきではない ・少子化、施設の改修・維持費、適正規模だけを根拠に再編を進め、住民へ統合を迫る形になることを懸念する 	<p>【義務教育学校の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校と中学校を合わせ、9年間一貫で子どもを見守り育てる義務教育学校を想定している <p>【期待される効果・留意点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校の専門教員が小学生にも関わることや、「中1ギャップ」の軽減が期待できる ・小学校の卒業式がなくなる場合がある <p>【学校数・施設整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3校体制は決定事項ではない ・既存校舎の改築案もあり、新築するかどうかは今後の議論で決める
	<p>【小規模特認校の配置】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小規模特認校を郊外と市街地のどちらに設けるのか確認したい ・呼人小中学校を残すのか、別の既存校を活用するのか確認したい ・呼人に決まったとの噂の事実関係を確認したい <p>【「学園」の名称】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・呼人小中学校が「学園」になると聞いたが、その意味を確認したい 	<p>【小規模特認校の配置への回答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設置場所は決定しておらず、必ず呼人小中学校を残すわけではない <p>【「学園」の名称への回答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・呼人が「学園」になるという情報は届いていない ・他地域では小中併置型学校に「ゆうべつ学園」「芭露学園」などの名称例がある ・義務教育学校となった場合の名称に関する話ではないかと考えられる
	<p>【二学期制・定期テスト】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校は二学期制で中間テストがなく、試験範囲が広いため子どもの負担が大きいと聞いた ・テストの実施方法は学校によって異なるのか確認したい <p>【運動会の運営・異学年交流】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・潮見小は午前中に学年区分ごとに実施し、保護者が立ち見・時間差入替えとなる運営に疑問がある ・南小では座って観覧しており、学校間の違いにも違和感がある ・運動が得意な子の活躍機会や異学年で応援し合う機会を大切にしてほしい ・学年別開催で異学年交流が減り、人間関係が希薄になることを懸念する ・市から運営方法の見直しを働きかけてほしい 	<p>【二学期制・定期テストへの回答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・網走市は前期・後期の二学期制を採用している ・中間テストを行う学校、小テストを繰り返す学校など、実施方法は学校ごとに異なる <p>【運動会の運営への回答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍を機に運営方法が見直され、現在は全校で午前中に終了している ・潮見小は児童数が多く、学年の入替えを円滑にするため立ち見としている ・教職員の負担が背景にある一方、保護者の違和感や物足りなさも認識している ・学校に対し、変更できる点は見直すよう伝える

分類項目	市民の意見	市からの回答
B.教育環境・学校規模	<p>【義務教育学校と成長の節目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・義務教育学校が本当に望ましいか、利点と課題の両面から検討してほしい ・小学校6年生としての卒業、中学1年生としての再出発、再び先輩となる段階的な経験は成長に重要 <p>【切磋琢磨・競争教育への懸念】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・切磋琢磨や競争を過度に重視することが、不登校につながる可能性を懸念する 	<p>【義務教育学校への回答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・義務教育学校には良い面と悪い面があることを理解している ・委員間で共通理解を図りながら検討する ・子どもを第一に考え、住民の声をよく聞いて進める
	<p>【アレルギー対応給食の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもにアレルギーがあり、現在は弁当持参で対応している ・学校再編に合わせて給食センターを設置し、アレルギー対応が可能な給食施設を整備してほしい ・給食センターを設置しない場合でも、アレルギー対応給食を提供できる体制へ改善してほしい <p>【東部地区の学校配置案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東小学校の児童を白鳥台小学校へ統合し、第四中学校の生徒を東小学校へ移転する案を提案する <p>【一定規模による教育機会の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部活動や学校行事の選択肢が広がることは、子どもたちにとって大きな財産になる ・現行の教育課程は一定人数を想定しており、その規模を大きく下回る場合は教育上の歪みが生じることを懸念する <p>【クラス替えと人間関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども同士の人間関係は学校生活に大きく影響するため、クラス替えができる規模を確保することが重要 ・新しい友達をつくり、人間関係をリセットして新たな気持ちで学校生活を送る機会は、子どもの成長につながる 	<p>【要望への対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アレルギー対応給食と東部地区の学校配置に関する要望として、今後の学校再編検討協議会へ報告する

分類項目	市民の意見	市からの回答
B.教育環境・学校規模	<p>【小規模特認校と義務教育学校への疑問】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小規模特認校と義務教育学校の違いは何か ・特認校を残す場合と義務教育学校に組み込む場合の違いを確認したい <p>【教育ビジョン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「質の高い教育」とは具体的に何か説明してほしい <p>【統合後の教育環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2035年に3校体制となった場合、校舎は新築なのか既存校舎の利用なのか確認したい ・28年統合と35年の3校体制は別々に議論すべきではないか ・2026年に基本計画を作るのに、35年まで適用される計画なのか混乱している ・3校体制になった場合、子どもはどの学校に通うことになるのか ・保護者や子どもが選べる仕組みはあるのか 	<p>【校舎・立地への回答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・義務教育学校の校舎については白紙の状態 ・既存校舎の転用、新築、増改築など様々な選択肢を含め、子どもの数や建物の残存年数を勘案して検討する <p>【質の高い教育への回答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多人数の中で多様な考えに触れ、協働し、正解のない課題に向き合う力を育む教育を目指す ・28年統合と35年構想は連動しており、基本計画は全体の方針を定めるもの ・詳細は段階に応じて検討する <p>【小規模特認校・義務教育学校への回答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小規模特認校は学区外からの通学を認める制度 ・義務教育学校は小中一貫で9年間の教育を行う学校 ・両者を組み合わせることも制度上は可能で、今後の検討課題
	<p>【他自治体との比較】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美幌町の義務教育学校と比較してどう考えているか ・美幌は全体を同時進行で議論しているが、網走は西小・中央小だけ先行しており理解しにくい <p>【施設立地】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・立地も含めてどのような構想なのか知りたい 	<p>【通学校選択への回答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本は学区により通学校が決まる ・学区外通学制度や特認校制度を活用すれば選択の余地はある ・具体的な学区割りは今後の検討事項 <p>【他自治体比較への回答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美幌町の事例は参考にしている ・網走は西小の老朽化と児童数減少が深刻なため先行統合を提案した ・全体像と先行統合の関係が分かりにくい点は説明を工夫する

分類項目	市民の意見	市からの回答
C.心理的安全性・移行支援	<p>【教育のあり方と心の安全】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不登校や子どもの自殺が深刻化する中、従来の学校教育を前提とせず、教育のあり方を原点から考え直してほしい <p>【小中一貫校と成長の節目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校6年間、中学校3年間の区切りや中学校入学時の節目も大切であり、小中一貫校とする理由を丁寧に説明してほしい <p>【早期交流による移行支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・統廃合の対象となる子どもの不安を減らすため、学校間交流を丁寧かつ早急に進めてほしい 	<p>【小中一貫教育への回答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9年間の一体的な学びにより、小学校段階から専門教育に触れ、中学校へのギャップを軽減できる ・卒業式に代わる節目の行事は学校で工夫できる ・少子化の中、教育と学校維持のあり方を議論し、9年間一貫の取組を進めたい <p>【移行支援への回答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの不安をなくすため、交流は早い時期から進める必要がある ・託児付きの意見を聴く会も開催する
	<p>【早期・日常的な交流】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2年後に子どもを同じ学校へ集めるだけでは、人見知りの子や低学年の精神的負担が大きい ・修学旅行の合同実施だけでなく、普段の授業や学校行事など、早い段階から日常的な交流機会を設けてほしい 	<p>【移行支援への回答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・統合に向けた段階的な交流は重要と認識している ・統合が正式決定した段階で、新しい環境に円滑になじめるよう、合同交流学习や学校行事での交流機会を設ける
	<p>【段階的交流】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来年度、中央小と西小の修学旅行を合同で行う話を聞いた ・いきなり合同では子どもが不安、事前交流を十分に行ってから実施すべき ・すでに「行きたくない」と言っている子が複数いる 	<p>【合同修学旅行への回答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・修学旅行は学校の教育課程であり、学校が協議して判断している ・東小・白鳥台小の合同修学旅行では事前交流を行っており、同様のノウハウを活かすよう学校に伝える ・部屋や行動班を分ける等、具体的に配慮するよう働きかける

分類項目	市民の意見	市からの回答
D.地域コミュニティへの影響	<p>【地域と学校の関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校はまちづくりの中心であり、「学校があって地域がある」「地域があって学校ができた」という両面から考える必要がある <p>【地域との合意形成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老朽化や改修・新設費用から統合が必要との考えも想定されるが、地域住民との合意形成を丁寧に積み重ねてほしい 	<ul style="list-style-type: none"> ・市からの回答の記録なし
	<p>【学校と地域の居場所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西コミセンの放課後メモリー事業は年間1,000人を超える子どもが利用しており、重要な居場所となっている ・学校がなくなった場合も、地域食堂などを活用して子どもの居場所と地域のつながりを維持してほしい <p>【学校廃止後の地域ビジョン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校は地域コミュニティの核であり、西小学校がなくなった場合に大曲新町地区をどう維持・発展させるのか、市のビジョンを示してほしい 	<p>【地域コミュニティへの回答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校が地域の大きな核であることには共感している ・出生数が減少する現状を踏まえて各学校のあり方を検討する必要がある ・教育と地域コミュニティのあり方を同時並行で議論し、郊外地区の同様の論点も含めて協議会で検討する
	<p>【避難所・地域防災】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校が3校に集約された場合、災害時の避難場所が不足することが不安であり、避難所機能と地域防災を含めて検討してほしい 	<p>【避難所・地域防災への回答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3校案は確定しておらず、避難所機能と学校数は今後の検討課題 ・財政負担、代替施設、防災面を踏まえて学校数を検討する ・まず教育環境を議論し、その後、防災や児童館も含めて地域と話し合う
	<p>【学校と地域の存続】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校や保育園は地域行事と住民交流の核であり、学校と子どもの声になることは地域存続の死活問題である ・地域づくりの中で学校が果たす役割を明確にしてほしい ・地域の歴史や、学校を築いてきた住民の思いを尊重してほしい ・全国的な統廃合方針に追随せず、網走の実情に合った方法を考えてほしい 	<p>【地域への影響に関する回答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・郊外地域でも、学校廃止による地域衰退への同様の懸念が出ている ・教育委員会は、子どもを第一に一定の学級規模を確保する考えから案を示した ・案は決定事項ではなく、地域の意見を学校再編検討協議会へ提示して検討する
	<p>【地域の学校の存続】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少子化でやむを得ない面は理解するが、地域の学校がなくなることへの心情的な抵抗がある ・地域の学校を何とか残せないかと考える 	<ul style="list-style-type: none"> ・この発言に対する市からの回答の記録なし

分類項目	市民の意見	市からの回答
D.地域コミュニティへの影響	<p>【避難所機能・跡地利用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西小は新町地区の防災訓練会場、一時避難所、災害備蓄品の保管場所であり、閉校後の避難場所をどう確保するか示してほしい ・閉校後のグラウンドや校舎の跡地利用を検討してほしい <p>【児童館の移転・放課後の移動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西児童館を中央小校区へ移転・集約する場合、移転先と噂される「いせの里」は既に混雑しているため、受入体制を整えてほしい ・統合後の児童館までの安全な移動手段を確保してほしい 	<p>【地域機能への回答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・跡地利用、避難所、放課後の児童館は市長部局の所管だが、関係部局と連携して対応する
	<p>【学童保育・保護者の就労支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・統廃合によって学童保育など放課後の受け皿が充実するのであれば、子育て世代にとって大きなメリットになる ・学童保育がない地域では、子どもの小学校入学後に保護者が安心して働き続けることが難しい ・教育環境だけでなく子育て支援の面からも、統廃合を前向きに検討する価値がある <p>【市街地での習い事・移動の可能性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市街地へ通学することで、習い事などへ子どもだけでバスを利用して通えるようになる可能性がある ・こうした点を含め、統廃合には多くのメリットがあると考えている 	<ul style="list-style-type: none"> ・市からの回答の記録なし
D.地域コミュニティへの影響	<p>【防災拠点としての学校の役割】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西小は地域の防災訓練や備蓄品保管の拠点になっている ・学校がなくなると避難場所・集合場所がなくなり、地域住民として心配 ・地域の核としての学校の役割について検討してほしい 	<p>【防災拠点への回答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災は別部署の担当だが、学校再編と連動する課題として認識している

分類項目	市民の意見	市からの回答
E.まちづくり・人口減少対策との整合	<p>【居住・産業後継への影響】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・郊外からの通学が1時間程度になると、子育て世帯が市街地へ移り、農業・漁業の現場から子どもが離れる懸念がある ・地域の暮らしや産業を身近に見て育つ機会が失われ、農業・漁業の担い手継承や地域定住が途絶えるおそれがある <p>【将来の再々編への懸念】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出生数減少と転出増加が続けば、3校へ再編した後にさらに1校へ集約する議論になることが心配 <p>【学校整備を未来への投資に】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校を新しく整備することを、子どもと網走の未来への投資として考えてほしい 	<p>【居住・産業後継への回答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市街地への転居により農業・漁業の就労や継承に影響が出るとの意見は他地域からもあり、重要な意見として受け止めている ・同様の意見は検討協議会にも伝えている <p>【魅力ある学校づくりへの回答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校再編では、地域で学校に通う意義も重要と考えている ・教育委員会、学校、地域の保護者が連携し、魅力ある学校づくりを進めたい
	<p>【人口減少と地域の将来像】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出生数や子育て世代が減少する中、学校再編を学校数だけの問題とせず、少子化やまちづくりを含む地域全体の将来像と併せて考えてほしい ・若者の定住、結婚、子育てを支える就職先や産業が不足すれば、学校だけでなくまち全体の縮小につながることを懸念する <p>【小規模校の存続と担い手育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学びたい子どもや家庭がある限り、郊外の小規模校を残してほしい ・学校は、地域で暮らし一次産業を継ぎたい子どもの思いと、将来の担い手育成を支える存在である 	<p>【仕事を起点としたまちづくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちの維持・発展には、まず地域に仕事を確保し、その仕事に人が集まり、まちづくりにつながる「しごと・ひと・まち」の順で考えることが重要 ・農業や漁業など地域の強みと、そこから派生する仕事を確保することが、人材と地域を育てる基盤になる <p>【地域産業からの雇用創出】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内では米作りの拡大など新たな農業展開が始まっている ・酒蔵と連携した酒米生産など、地域産業を横展開して新たな仕事と雇用を生み出す取組を進めたい
	<p>【転出増加への懸念】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校再編により網走を住みづらいつと感じる人が増え、転出の流れがさらに加速する可能性も考慮してほしい 	<ul style="list-style-type: none"> ・市からの回答の記録なし

分類項目	市民の意見	市からの回答
E.まちづくり・人口減少対策との整合	<p>【公共施設と子育て拠点の集約】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口減少に対応した機能集約の考え方と、子育て支援の充実を両立してほしい ・児童センターや児童館を学校・既存施設・新施設へ集約する方針について、学校再編と併せて検討してほしい 	<p>【公共施設再編への回答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共施設総合管理計画は学校を含む全公共施設のあり方を対象としている ・将来の建替え負担を抑えるため、既存施設の建替え時は面積を3割縮小する考え ・財政面だけでなく望ましい教育環境を説明し、市民意見を踏まえて検討する ・既存施設をこども発達支援センターへ転用した事例もある
	<p>【まちづくりと一体的な検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの人数だけで判断せず、将来必要な教育の姿を描いた上で計画してほしい ・少子化・人口減少への対応、基幹産業の将来、市民との協働によるまちづくりと学校再編を一体的に議論してほしい 	<ul style="list-style-type: none"> ・市からの回答の記録なし
	<p>【少子化・人口減少対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校再編の根本には人口減少があり、市の少子化対策が見えてこない ・医療費・給食費の無償化など子育て支援を進めているが、少子化対策としての明確な効果は確認できていない ・企業誘致やスポーツ拠点の設置などで網走を発信し、人口増と経済活性化につなげてほしい 	<p>【仕事を起点とした人口減少対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・合計特殊出生率は約1.3で、現在の水準では人口減少が続く ・出産や結婚は個人の生き方に関わるため、行政による直接的な介入は難しい ・仕事をつくり、人を呼び、まちをつくる「しごと・ひと・まち」の順で地方創生を進める ・農業・漁業やスポーツ誘致など、地域の強みを仕事につなげる施策を重視する
	<p>【大学生の定着・雇用ニーズ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口は約3万人まで減少し、東京農大の学生も卒業後に市外へ出ている ・市内は農業・漁業を含め人手不足で仕事はあるが、若者の「やりたい仕事」がないという雇用ニーズとの不一致が課題 ・賃金改善とともに、希望する仕事がないとの声を受け止める必要がある 	<p>【大学生・Uターン人材への対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京農大オホーツクキャンパスは4学年約1,600人、年間約350～400人が入学し、学生の多くは道外出身 ・大学で学んだ専門性を地域で生かせるよう取り組む ・一度市外へ出た後に戻るUターン人材も大切にする ・意見を今後の学校再編検討協議会の参考とする

分類項目	市民の意見	市からの回答
F.財政負担・長期的な持続性	【耐震性・改修順位の根拠】 ・西小学校と網走小学校は健全度指数が同じ「40」であるのに、西小学校を先に検討対象とする理由を確認したい ・網走小学校と西小学校の耐震診断・補強の状況について、資料の数値が示す意味を確認したい	【耐震性・改修順位への回答】 ・両校とも耐震性には基本的に問題ないと考えている ・学校ごとに改修計画と改修年度を定めており、西小学校の改修年度が最も早い ため先に検討している
	【財政負担】 ・校舎改修費337億円は、国庫補助や地方交付税措置を考慮すると市の実質負担は少なくなるため、具体的な内訳資料を早急に示してほしい	【財政負担】 ・337億円は各年度の事業費を積み上げた総事業費 ・国庫補助、地方債、地方交付税で戻る部分があるが、国庫補助には上限単価がある ・費用資料は適切な時期に市ホームページで公開を検討する
	【既存施設への投資・活用】 ・3校化に伴う新築では体育館を2つ整備する必要があるとの説明があった ・既存校の改修・修繕に337億円かかるとしても、子どものために必要な費用は惜しむべきではない ・既存施設を十分に改修・修繕して活用することが大切ではないか	・この発言に対する市からの回答の記録なし
	【財政負担】 ・新築、既存校利用、改修など、各案の費用が全く示されていない ・お金の話を外して学校再編を議論するのは不十分 ・総事業費と市の実質負担を明確にした上で協議会を進めてほしい	【費用情報への回答】 ・費用についてパターン別に示せるよう検討する ・物価上昇や国の補助金等もあり、市の実質負担額をどこまで示せるかは難しいが、お示しできるようになったら説明する
	【校舎老朽化】 ・西小の老朽化はどこまで持つのか、具体的な期限を示してほしい ・保護者は「あと2年」と追い込まれている感覚がある ・西小は令和7年度に改修予定だったのに実施しなかった理由を確認したい ・網走小も同程度の老朽化だが、西小だけ先行統合する理由が不明 ・網走小は令和9年度に改修するのか	【統合時期への回答】 ・案であり、まだ決定していない、今後の協議次第で変更の可能性はある

分類項目	市民の意見	市からの回答
G.交通・運営体制 の実現可能性	【検討体制・決定経緯】 ・学校再編検討協議会にコンサル会社が参加している理由を確認したい ・適正配置の検討が教育委員会の発信によるものか確認したい	【検討体制・決定経緯への回答】 ・ドーコンは、会議運営の補助と基本計画策定支援を受託する事業者として参加している ・適正配置は、市が策定した基本的な考え方に基づき、少子化と学校施設の老朽化を踏まえて教育委員会が決定し進めている
	【再編案の位置づけ】 ・義務教育学校2校と小規模特認校1校とする学校再編案は、決定事項なのか確認したい	【再編案の位置づけへの回答】 ・決定事項ではなく、市が示したたたき台であり、今後検討していく案である
	【丁寧な説明・情報公開】 ・十分な協議時間を確保し、学校関係者や未就学児の保護者を含めて積極的に周知してほしい ・計画の公表まで時間を要した理由、教育委員会での審議経過、会議や予算審議を非公開とした理由を説明してほしい ・未掲載の会議録を公開し、ホームページ以外も含めた情報発信を改善してほしい 【協議対象・スケジュールの明確化】 ・2028年の西小・中央小統合と2035年の将来像が混在しており、議論の対象時期が分かりにくい ・西小・中央小の統廃合について、是非を含めて検討協議会で具体的に議論し、地域住民や保護者の意見を反映する時間を確保してほしい ・市が示した3案を前提とせず、議論の時期と進め方を明確にほしい 【市のビジョンと合意形成】 ・学校再編はまちづくりにも関わるため、市長の考えや将来ビジョンを示してほしい ・教育委員会が責任を持って進行し、議論の長期化によって短期間で閉校・統合を迫ることがないようにしてほしい ・意見を聴く会の声を単に共有するだけでなく、検討に反映する姿勢を示してほしい	【周知・情報公開への回答】 ・ホームページのほか、保護者向け配信アプリ、子育て支援課との連携、折込等で周知しており、今後は3週間程度の周知期間を確保する ・計画公表が5月になったのは、PTA・学校運営協議会・議会への説明を行ったためであり、意図的に遅らせたものではない ・教育委員会では承認前に1年以上協議しており、会議・予算審議の非公開は議会説明や議会提案との関係による ・会議録の掲載漏れは事実であり、確認不足を反省している 【協議の進め方への回答】 ・西小・中央小の統合案と2028年の時期はいずれも決定事項ではない ・第3回は残るテーマを議論し、第4回以降に具体案を示して議論する予定 ・早期に議論すべきとの意見も含め、進め方を検討する 【合意形成への回答】 ・学校設置は独立した教育委員会が決める事項として、教育長が諮問している ・合意形成後は、短期間で閉校・統合とならないよう十分な移行期間を設ける ・意見を聴く会や地域から出た声を検討協議会の委員に示す

分類項目	市民の意見	市からの回答
G.交通・運営体制 の実現可能性	<p>【意見反映と策定期間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本計画策定までの期間が短く、住民意見を十分に反映するには早すぎるため、検討時間を確保してほしい <p>【学校関係者の声と情報共有】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・再編方針が市独自か国の方針かを明確にし、教職員、児童会、PTA、各学校の意見も整理して示してほしい ・以前から検討していたのであれば、より早く市民へ知らせてほしかった <p>【2028年統合案の具体化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西小・中央小の2028年統合案に保護者の不安があるため、決定状況と今後の具体的なスケジュールを示してほしい 	<p>【意見反映・策定期間への回答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度中の計画案策定を進めているが、意見を聴く会やアンケートで幅広い意見を取り入れる <p>【再編方針・情報共有への回答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3校体制は決定事項ではなく、検討協議会で学校数を議論する段階 ・基本的な考え方は教育委員会でまとめ、各学校、PTA役員、学校運営協議会へ説明した後、市民意見を聴いている <p>【2028年統合案への回答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西小・中央小の2028年統合は決定事項ではない ・給食調理場の老朽化には対応が必要だが、統合まで1年しかない進め方は現実的でなく、スケジュールの議論が必要
	<p>【再編構想の経緯とスケジュール】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・再編構想をいつから準備し、町内会や学校へいつ提示したのか確認したい ・西小学校の老朽化を踏まえ、結論を出す時期と今後のスケジュールを示してほしい <p>【当事者意見の把握・公表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員、児童生徒、保護者の声を聴く機会やアンケートの実施状況、公表予定を示してほしい 	<p>【構想の経緯への回答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在の案は決定計画ではなく、基本計画案を作るためのたたき台 ・昨年12月に基本的な考え方を策定し、学校長、PTA役員、学校運営協議会、市議会へ説明した ・5月以降、市内で誰でも参加できる意見を聴く会を開催している <p>【当事者意見への回答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員アンケートを準備し、子どもの意見を聴く場やアンケートも検討している ・教職員や子どもの意見を決定材料の一つとして参考にする

分類項目	市民の意見	市からの回答
G.交通・運営体制の実現可能性	<p>【計画の位置づけ・策定経緯】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回の再編は従来の小規模校同士の統廃合ではなく、市内全体の学校のあり方を根本的に見直すものか確認したい ・検討開始時期、策定主体、特別チームの有無、市長部局など他部署との連携状況を明確にしてほしい <p>【全庁的な将来ビジョン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・網走の将来像の中に教育と学校配置を位置づけ、市全体で検討してほしい ・教育委員会だけの問題ではないため、検討協議会にも市長が関わる必要がある <p>【市民意見の反映と合意形成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民の声を検討協議会へどう反映するか明確にし、形式的ではない合意形成を進めてほしい <p>【国の指針との関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文部科学省の指針に基づく考え方であれば、その関係を明確に説明してほしい 	<p>【再編検討の背景・位置づけ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少子化と施設老朽化を踏まえ、子どもにより良い教育環境をつくるための「基本的な考え方」であり、基本計画は今後策定する ・令和6年3月の施設改修計画で、長寿命化に30年間で337億円が必要と見込まれたため、令和6年から検討を開始した <p>【策定体制・教育の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別チームは設けず、教育委員会と教育委員が議論し、昨年12月に取りまとめた ・9年間一体の教育を基本に、検討協議会で方向性を定める ・文部科学省の指針も踏まえて策定した <p>【市長部局との連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校の統廃合は独立した教育委員会が主体となって検討する ・当初は市長部局と共同検討していないが内容は共有しており、児童館や地域コミュニティへの影響を踏まえて今後連携する <p>【市民意見の反映】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各地域の意見を検討協議会委員へ伝え、市公式ホームページでも公開している ・議論の結果により、市が示した3校案から変更する可能性がある
	<p>【3校案の位置づけ・選択肢】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3校案は決定事項ではないと説明されているが、実質的には決定事項のように感じる ・本当に3校体制でなければならないのか確認したい ・提示された3案はいずれも最終的に3校となるため、実質的に複数案とは言えない ・一度立ち止まり、住民の声を十分に聴いて網走市にふさわしい再編を考え直してほしい <p>【意見反映・進捗共有】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・説明会で出た意見と、その後の検討状況を参加者へ示してほしい ・住民の声が反映されず、地域が置き去りになることを懸念する ・各段階の進捗を説明会や広報などで知らせてほしい <p>【協議会の公開・情報周知】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校再編検討協議会を一般市民が傍聴できるか確認したい ・学校再編情報の広報方法を確認したい ・重要な内容のため、市の広報紙にも掲載してほしい 	<p>【3校案・検討方針への回答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3校体制は教育委員会が示した案であり、決定事項ではない ・義務教育学校2校と、大人数になじめない子ども向けの小規模特認校1校を想定している ・郊外校を一部残す5校案などになる可能性もあり、学校再編検討協議会で方向性を定める <p>【意見反映・進捗共有への回答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各地域の意見はすべて協議会へ伝えている ・意見と市の回答、これまでの経過は市公式ホームページで公開する ・中間報告を求める声を踏まえ、今後、進捗を報告する場を設ける <p>【協議会・情報周知への回答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協議会は一般傍聴が可能で、傍聴者にも資料を配布している ・第3回は9月末に開催予定 ・市公式ホームページ、新聞折込、LINE等のSNS、保育所の協力により周知している ・日程が広報紙の発行に間に合う場合は、市の広報紙でも周知する

分類項目	市民の意見	市からの回答
G.交通・運営体制 の実現可能性	【再編スケジュール】 ・学校再編は、2035年の児童数846人を見据えたスケジュールという認識でよいか	【再編スケジュールへの回答】 ・スケジュールを含め、現時点で決定事項ではない ・少子化への対応として、10年後を見据えて進める考えである
	【再編案の位置づけ・丁寧な議論】 ・小中学校を10年後に3校へ一斉に集約する構想は乱暴であり、地域で丁寧に議論してほしい ・学校は地域コミュニティの中心であり、地域の将来像を住民と十分に議論して進めるべき ・教育関係者や地域住民など、多様な観点を反映してほしい	【再編案・合意形成への回答】 ・10年後に3校とする構想は決定事項ではなく、たたき台である ・地域で丁寧に進める必要性を認識し、各地域で説明してきた ・学校を残したいとの意見や通学負担への懸念を踏まえ、学校再編検討協議会で方向性を定める ・具体的な代替案の提示を求める発言に対する市からの回答の記録なし
	【具体的な代替案の提示】 ・「無理」「乱暴」と批判するだけでなく、自分ならどうするかという具体的な提案も聞きたい	
	【2028年統合スケジュール】 ・2028年の統合まであと2年しかないが、本当に決定事項なのか確認したい	【統合時期への回答】 ・2028年(令和10年)の統合スケジュールは決定事項ではなく、統合の判断もまだ出ていない ・閉校・開校準備や子どもの事前交流に必要な期間を考えると、現在のスケジュールは厳しいと認識している
	【再編案の決定状況】 ・10年後に市内の学校が3校になるとの情報について、事実関係を確認したい ・現時点では市が案を示している段階で、決定事項ではないとの説明を受け、その点は理解した 【情報周知の改善】 ・学校再編に関する情報が全市民に届くよう、プリント配布などを含む周知の仕組みを整えてほしい	【再編案・情報周知への回答】 ・学校再編に関する情報は、市公式ホームページで随時更新する ・プリント配布は難しい可能性があるが、保護者向け配信アプリ「すぐー」で更新情報を配信するなどの対応を検討する

分類項目	市民の意見	市からの回答
G.交通・運営体制 の実現可能性	<p>【その他の意見の反映】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校統合を決めてから詳細を後で決めるのは順序が違う ・現場の先生たちの本音を聞いてほしい、先生たちも納得しておらず戸惑っている <p>【市長交代時の計画継続性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2035年までに市長選が複数回ある、市長が変わっても再編案は維持されるのか ・湧別町で町長交代により新庁舎計画が白紙になった例もあり不安 <p>【スケジュール】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西小と中央小の統合を令和17年(2035年)まで延ばすことも可能か確認したい ・2028年統合は本当に必要なのか、2029年や2030年まで延ばせるのか確認したい 	<p>【給食センターへの回答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給食センターの統合については現時点で案に含めていない ・学校再編の方針が固まった段階で、給食やプール等の付属施設についても連動して検討する <p>【教職員の声への回答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回検討協議会でも同様の意見があった ・先生方や子どもたちの声をどこまで聞か、教育委員会で方策を検討する <p>【計画継続性への回答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校再編の決定機関は教育委員会であり、市長部局とは別組織 ・予算は市議会の承認が必要だが、市長が変わったからといって即変更とはならない ・ただし、庁舎建設等は市長判断なので長が変われば変わりうる